私たちが目指す授業の共有化

山形市立第十中学校　研究推進委員会 2011

言語活動の充実を通して，

『生徒の主体性』・『生徒同士のかかわり合い』を意識した授業になっているか

今回の授業はどうだったか？（問い続けることが大切です！）

●学習課題，発問の吟味や，学習プリントを工夫し，多様な学習形態や，発表ボードを利用した学び合い活動等を取り入れ，座標の右上の授業を目指す

高い

生徒の主体性

低い

うすい　生徒同士のかかわり合い　こい

□生徒の様々なつぶやきが出ているが，拾われていない授業
□生徒に様々な考えを出させたが，個々にバラバラでその活動自体に教師のねらいが見えない授業

＜私たちが目指す授業の姿＞

～生徒同士が，精一杯考え，表現し合う授業～

□活動を通して，生徒同士の思考力や判断力，表現力等の高まりが見られる学習課題，発問になっている授業
□相手に自分の考えを伝えようとする姿，聞いて理解しようとする姿が見られる授業
□生徒の意見，つぶやき，説明，討論の内容などを教師がうまく調和して，まとめている授業

□教師主導の授業
□教師がよくしゃべる説明中心の授業
□学習の課題を生徒が理解していない授業
□活動に有用感，目的意識が薄い授業
□教科の知識や技能面ばかりを重視した授業

□目的や必用感のないグループ学習・ペア学習
□教師と生徒の一問一答で進む授業
□一部の生徒（前の席や，よく挙手する生徒）の発言だけで進む授業
□生徒一人の正答から，そのまま全体のまとめとしてしまう授業
□言語活動を行うことが，目的になっている授業